

令和5年度 運輸安全マネジメント内部監査報告書

イワサバス株式会社

代表取締役 岩佐雅史 殿
安全統括管理者 岩佐雅央 殿
統括運行管理者 岩佐貴永 殿

兵庫県尼崎市水堂町4丁目20番16号

イワサバス株式会社

内部監査員 中尾 靖

1. 内部監査実施対象

(1)本社営業所

(2)経営管理部門 経営トップ、安全統括管理者、統括運行管理者

2. 重点監査項目

(1)本社営業所

適切に運行管理が行われているか確認するとともに、輸送の安全に関する文書、記録等のほか運輸安全マネジメントに関する項目確実に周知されているか監査する。

(2)経営管理部門

①経営トップ

経営トップが、輸送の安全の確保のため、関係法令の遵守、安全方針、安全重点施策の策定等に積極的に関与するなど、安全管理体制の構築、改善にリーダーシップを発揮しているか監査する。

②安全統括管理者

安全管理体制の課題や問題点を的確に把握する立場から、安全重点施策の進捗状況、事故等の発生状況、安全管理体制の改善の必要性等を経営トップに適宜、報告又は意見具申しているか監査する。

③運行管理者

現場の責任者として、運輸安全マネジメントの内容を乗務員に理解・実行させる努力を行っているか、また他の運行管理者・補助者への指導を行っているか監査する。

3. 内部監査結果

(1)本社営業所

①監査日 令和6年5月15日～31日

②監査員 中尾 靖 内部監査員

③監査方法 監査対象の関係書類の確認

④総評

必要な帳票類は、営業所内に保管され、周知事項は掲示されていることが確認できた。
緊急時対応マニュアルが、事務職員及び各車両に配備されており、各社員の対応力の統一化を目指していることが確認された。
乗務員研修も確実に実施しており、ドライブレコーダー映像を用いた個別の指導を重要視していることが確認された。

⑤是正勧告

・目標数値が前年度の結果に基づき設定されていたため、令和5年度は運行回数が増加したため、事故件数の目標数値を年度途中で変更している。
事故対策会議を実施し惹起者への再発防止に努めているが全乗務員への情報の共有化の機会が少ないように見受けられる。

(2)経営管理部門

①監査日 令和6年5月1日～10日

②監査員 中尾 靖 内部監査員

③被監査者 経営トップ(岩佐雅史社長)、安全統括管理者(岩佐雅央専務)
統括運行管理者(岩佐貴永)

④監査方法 アンケート回答に基づき、個別面談調査

⑤重点監査項目

経営トップ…安全管理体制の構築・改善にリーダーシップを発揮しているか

安全統括管理者…経営トップに適宜、報告又は意見等を具申しているか

統括運行管理者…運輸安全マネジメントを実施するために必要な措置を実践しているか

⑥総評

経営トップ

トップ自ら、事故対策会議に参加し、個々の事故の原因を考えている。

重要視しているのは乗務員の注意の方向(配分)と昨年度の改善目標に入れた心理的要因が事故原因にどれほど影響を及ぼしていたのかを考え、再発防止をアドバイスしている。

安全統括管理者

経営トップとの連絡を密にし、特に重要と考えられるものは文書化し回覧する等の措置をとっている。

今年度は特に出庫時の点呼に立ち合い乗務員とのコミュニケーションをはかり、経営トップ、統括運行管理者への情報共有を実施している。

統括運行管理者

前任者の退職により11月に就任しており、事故分析はあまり担当していなかった。

管理栄養士の資格を持っており、健康面の管理を重点的に行っており乗務員各々の健康面の注意事項がフィードバックしやすくなっている。

⑦改善目標及び是正勧告

経営トップ、安全統括管理者、統括運行管理者とも、事故、ヒヤリハット情報の共有化の徹底が喫緊の課題であると考えている。

具体的には、




①乗務員自身が原因となるヒヤリハットの報告をしやすい社内環境づくり

②乗務員の心理的要因まで踏み込んだ事故分析。

4. 総合的所見

常に安全対策構築に対する思いを強く持っておられることが確認できました。

トップ自ら頻繁に乗務員への声がけし、個々に意見を聞き運行管理者にフィードバックする機会を増やしている。乗務員からの情報を研修に活かし安全性のさらなる構築を進めていかれることを望みます。

承認	確認	確認	作成
令和6年7月21日	令和6年7月21日	令和6年7月21日	令和6年7月20日
経営トップ	安全統括管理者	統括運行管理者	内部監査官
岩佐 雅史 	岩佐 雅央 	岩佐 貴永 	中尾 靖 